

# 自転車違反取締りの現状

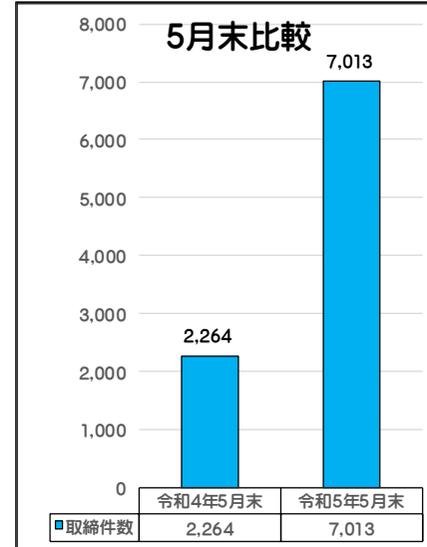
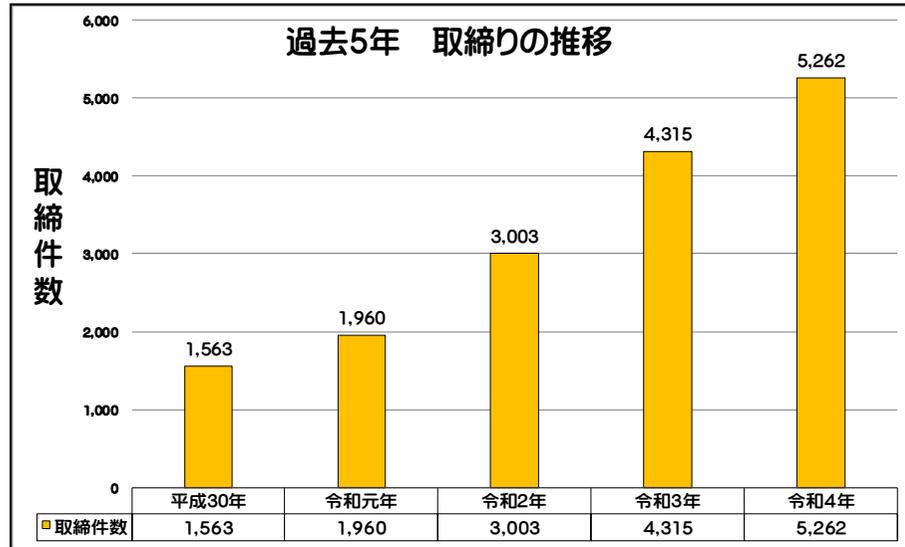
警視庁交通部



# 2 自転車違反取締りの推移

## (1) 自転車違反取締りの推移

- 自転車違反の取締件数は、年々増加している。
- 令和4年10月末に自転車違反取締りの更なる強化を図り、令和5年5月末現在で7,013件の取締りを行っている。

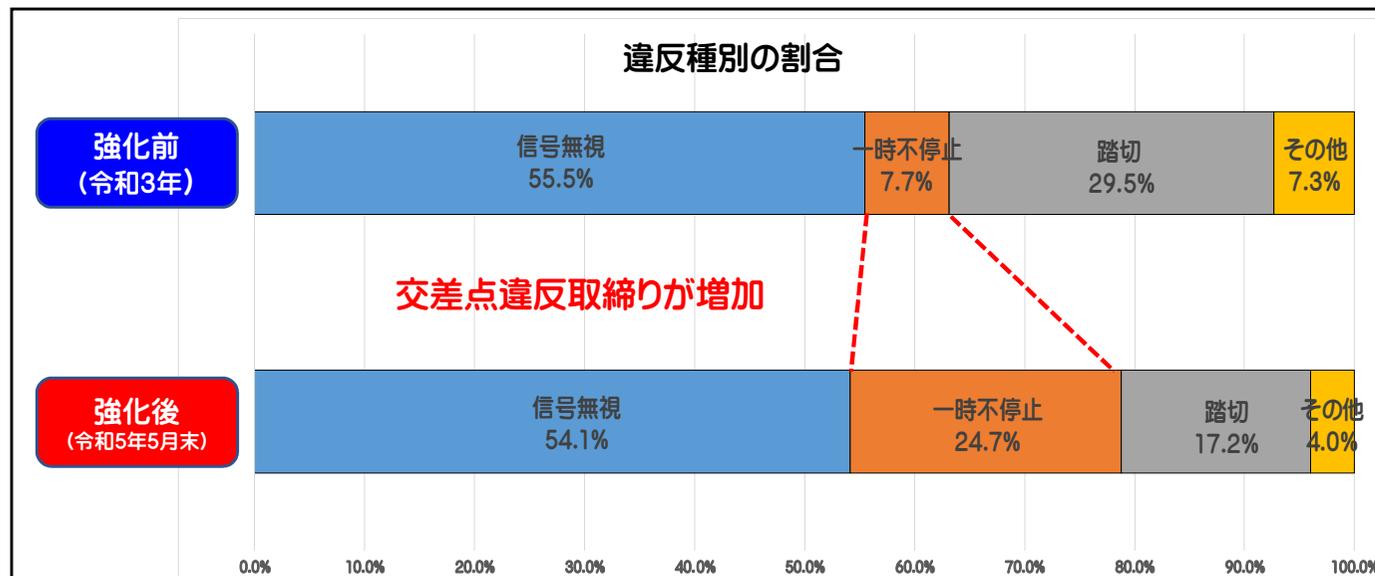


現場執行力の向上



## (2) 自転車違反取締り強化後の変化

- 信号無視、一時不停止などの交差点違反の取締りが、約80%を占める。



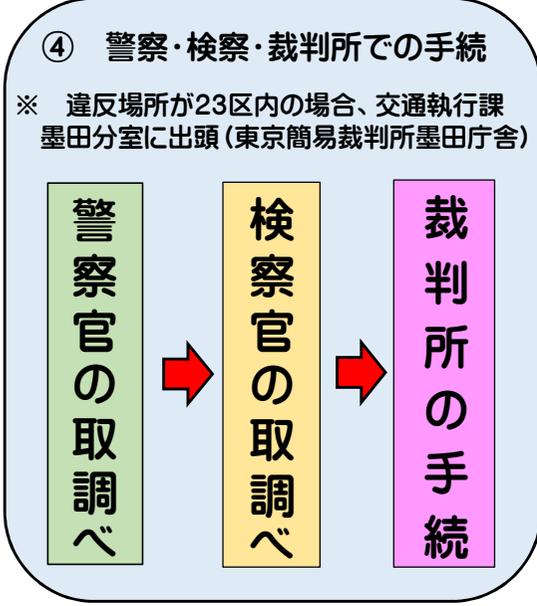
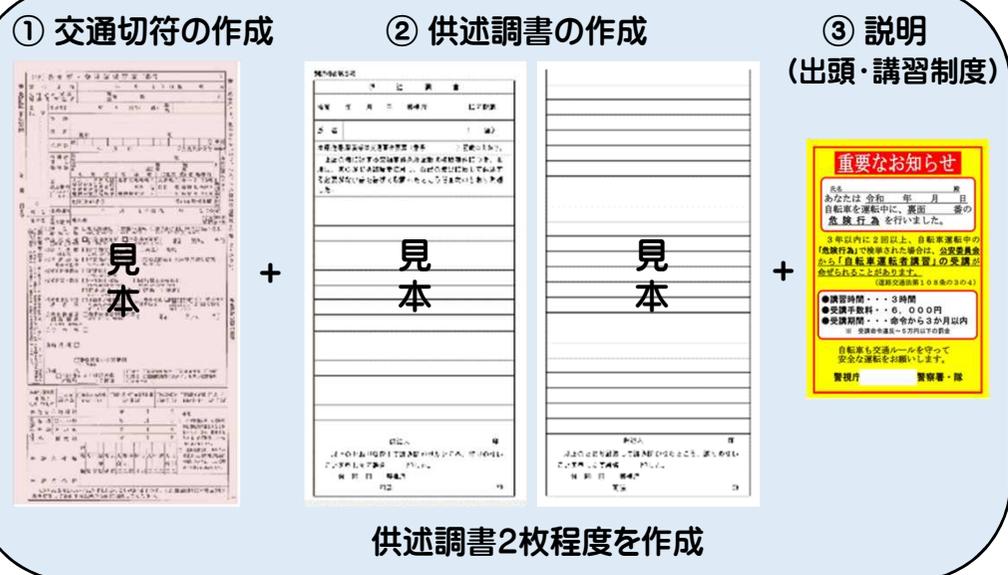
交通課・地域課との合同取締り



# 3 自転車違反取締りの流れ

## 取締り現場での手続(所要時間40~50分程度)

## 刑事手続



### ○ 想定される違反者側・警察側の負担

#### 違反者側の負担

##### 現場手続にかかる時間

現場手続(①切符作成+②供述調書作成+③説明)には、40~50分程度の時間を要する。  
⇒ 交通反則切符の処理は10~20分程度

##### 刑事手続による不公平感・心理的負担

- 違反を認めた場合でも、反則金納付の機会がない。
  - 罰金以上の刑事処分になる可能性がある。
- ⇒ 自動車と同種違反行為した場合との違い

##### 出頭の日程調整

出頭は平日のみとなる。  
⇒ 仕事を休むなど、日程調整が必要

#### 警察側の負担

##### 複数警察官で対応

- 刑事責任の追及が前提となるため、供述調書の作成が必要
- 供述調書の作成に要する時間は、30~40分程度
- 時間短縮のため、①切符、②供述調書を複数警察官で作成

##### 出頭者の増加

自転車の取締り件数が増加すると、刑事手続のために交通執行課(墨田分室・立川分室)に出頭する違反者も増加  
⇒ 都内は自転車の違反取締りを受けて出頭する違反者が大幅増加